

あびらの出来事 地震発生からこれまでを振り返る

広報あびら9月号（9月5日）の発行をした翌日、平成30年北海道胆振東部地震が発生しました。

それ以降、町内での行事のできごと紹介を休止していましたが、平成最後の広報あびらの発行に合わせ、発災後の町のイベントなど大きな町の動きを紹介します。

9月6日

9月6日3時7分ごろ、胆振地方中東部を震源とする最大震度7（安平町は最大震度6強）の地震が発生。日が昇っていくにつれ、被害の状況が明るみになっていきました。



地震により隆起した道路。
町内いたところで交通障害が発生した。

9月9日

安倍内閣総理大臣が来町。被害状況などを及川町長、高橋北海道知事等と話し合いました。



9月13日

しのめ交流館に「あそびのひろば」が開設され多くの子どもたちで賑わいました。



9月14日

陸上自衛隊による入浴支援開始。断水が生じ、久しぶりの入浴になった方もいたのではないだろうか。



9月25日

追分・早来両地区での仮設住宅の建設が始まりました。

10月10日

義援金等の業務を担う、復興・生活再建支援室が総務課に設置されました。

10月14日



学芸会・学校祭の最初を飾ったのは早来中学校でした。限られた環境で工夫しての開催となりました。

10月15日

震災発生直後から町内各所で行われた、自衛隊による災害支援が終了しました。

10月21日

胆振東部秋季少年野球大会が行われ、白球を追いかける子どもたちの元気な姿がグラウンドで見られました。

10月28日



地域の方々も多く集まった安平小学校の学芸会。子どもたちの頑張る姿に心癒されるひとときとなりました。

11月1日

仮設住宅に入居する方々への鍵の引き渡しが行われました。

11月1日

ソフトバンク株式会社、株式会社FoundingBaseと「地域おこし企業人」交流プログラム派遣社員辞令交付式が行われました。

